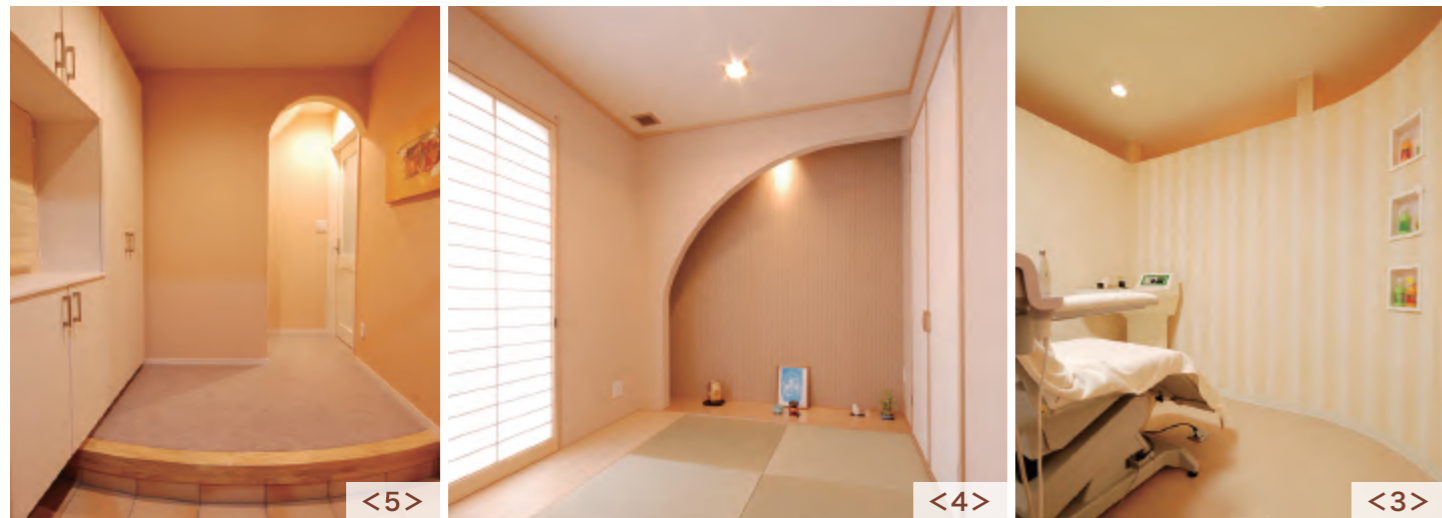
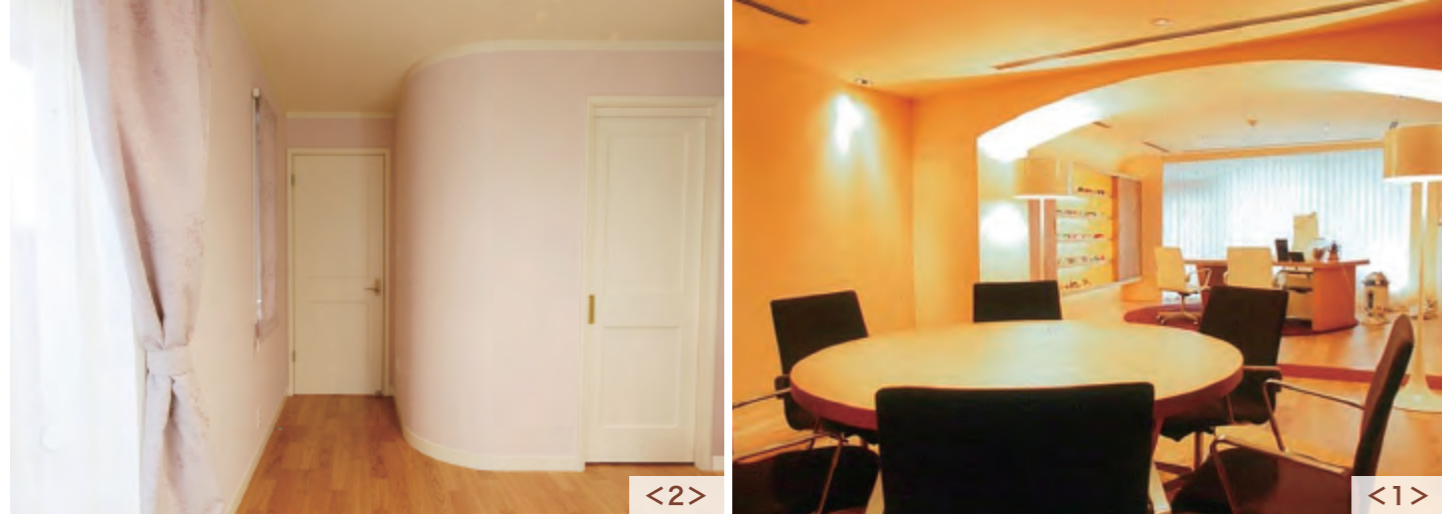


Feng-Shui Gallery

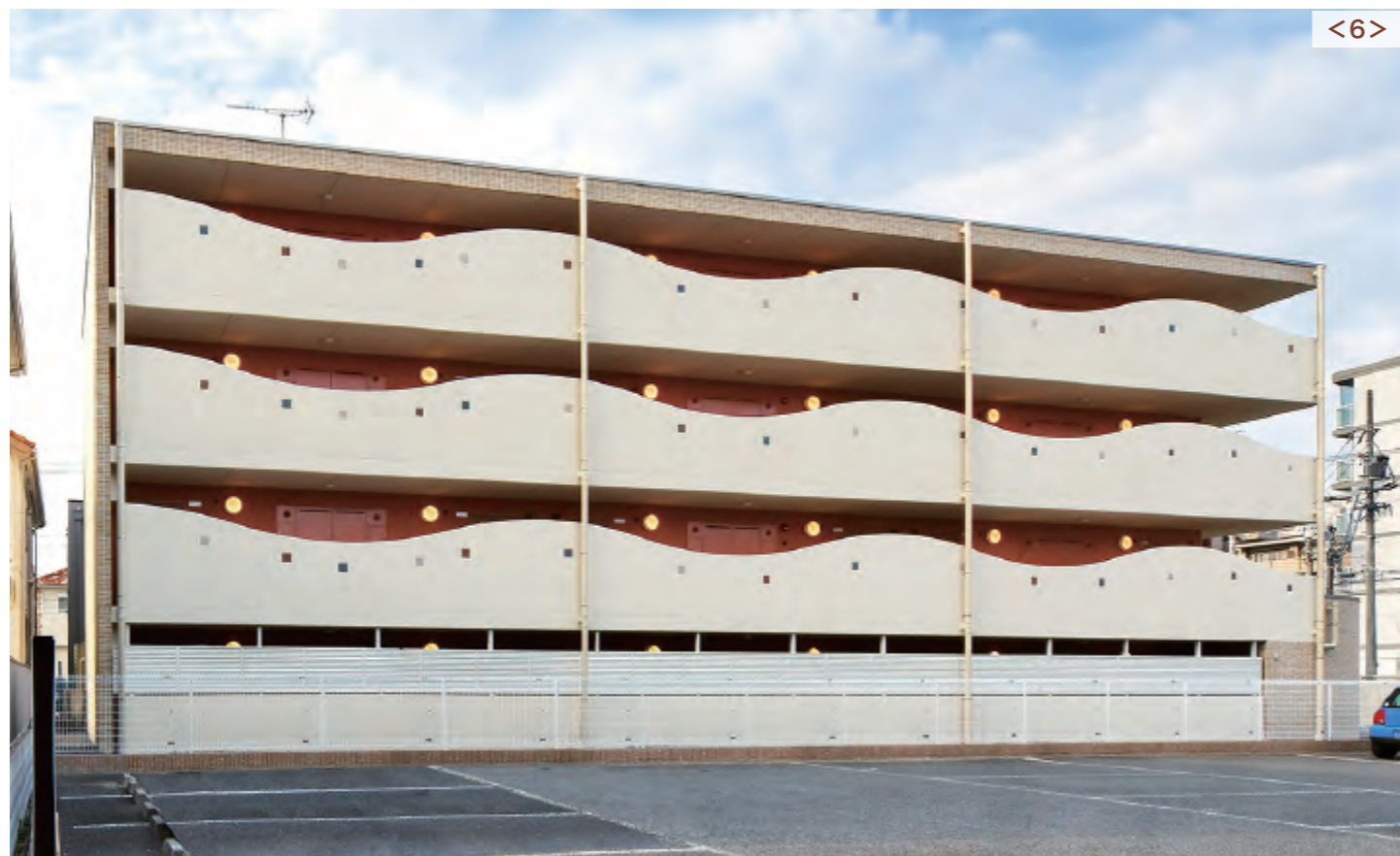
special edition vol.42

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『曲線のある空間 vol.2』



【右ページ写真】天井と床が正円でデザインされたオフィスエントランス。受付やカウンターバックの壁も曲線となっており、訪れた人に安心感や受け入れられているといった印象を与える空間となっています。**【写真1】**天井の梁がアーチ型にデザインされたオフィスの役員室。壁に曲線は用いられていませんが、範囲の広い梁がアーチ型になっていることで、空間全体に曲線の柔らかいイメージをもたせることができています。**【写真2】**入ってすぐにクローゼットがレイアウトされた寝室。角を曲線にすることで動線的に余裕ができ、視覚的にも広がりのある空間となっています。**【写真3】**殺風景な空間になりがちな診療室も、曲線の壁と明るい色のストライプの壁紙で柔らかくめでぬくもりのある空間となっています。**【写真4】**和室にも曲線を用いることで、従来のイメージとは違うな、と思わせるような新鮮な感覚を与える空間となっています。**【写真5】**曲線の上がり框とアーチ型の開口で構成された玄関ホール。曲線には良い気を集める効果があり、それが玄関にあることで家全体に良い気を行き渡らせることが可能です。**【写真6】**手摺壁が波型にデザインされた集合住宅。住んでいる人にはもちろんですが、その周辺環境にも良い影響を与えています。



曲線形状の床や壁は、脳に「安心」や「優しさ」などの視覚的情報を与えます。空間デザインでお部屋のイメージを意図的に構築することが可能なのです。

曲線でデザインされた空間は、氣の流れを良くする効果とともに、視覚的にも、脳にさまざまな情報を与えています。毎日の生活で無意識的に入ってくる情報を、意図的にデザインすることで良い情報を、潜在意識に落とし込むことができるのです。